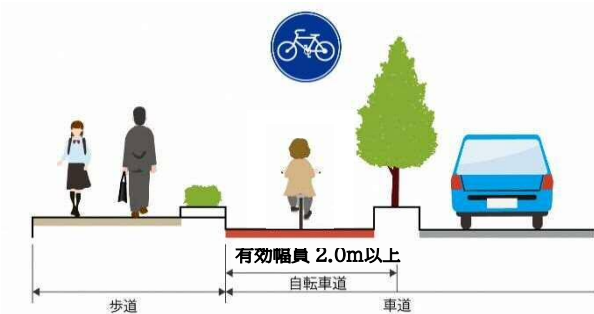


自転車通行空間の整備手法

路線整備

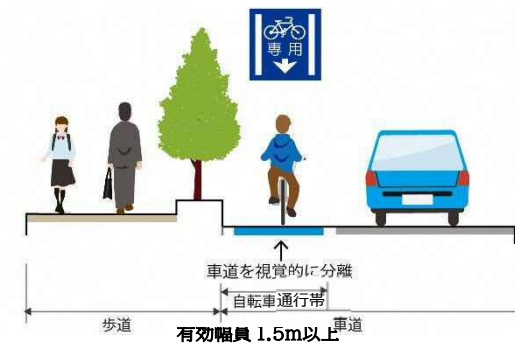
①自転車専用道（交通規制の変更）

- ・自転車と歩行者の通行位置を縁石・柵等によって構造的に分離しています。



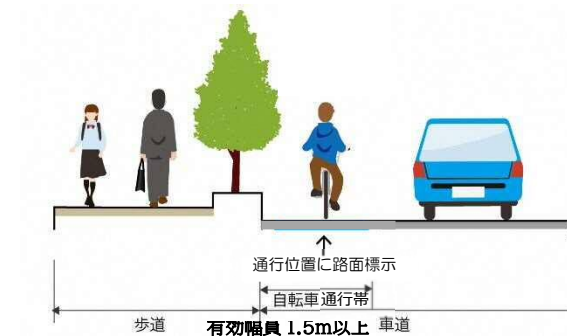
②自転車専用通行帯（交通規制の変更）

- ・車道の左端を着色し、自転車と自動車の通行位置を視覚的に分離しています。



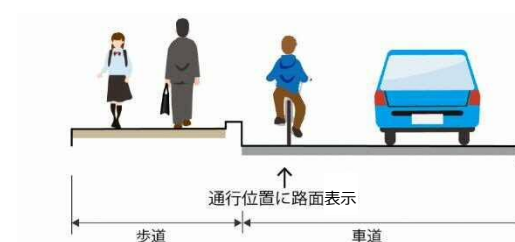
③自転車通行帯（矢羽根型路面表示）

- ・車道の左端に矢羽根型路面表示を設置し、自転車の通行位置を示しています。



④車道混在（矢羽根型路面表示）

- ・自転車の通行空間を車道に明示し、自転車と自動車が車道内で混在することの注意喚起を行っています。



面的整備

⑤交差点部

自転車の交通ルールの周知を図るため、左側通行を明示する「自転車ピクトグラム」や歩道内に歩行者優先を啓発する「歩行者優先路面シート」等を配置し、優先エリアを中心として面的整備を行います。

（整備優先エリア：名駅地区、栄地区、大曽根地区、今池地区、上小田井地区）

